

投稿規定

(直近改正 2021年8月)

1. 投稿資格

福井大学学術研究院医学系部門（高エネルギー医学研究センター、ライフサイエンス支援センター及び子どものこころの発達研究センターを含む。）に所属する教員、医学系研究科に所属する大学院生及び医学部に所属する研究生とする。その他の場合は、福井大学学術研究院医学系部門研究雑誌編集委員会（以下「委員会」という。）で決定する。

2. 原稿の種類

(1) 研究雑誌に投稿できる原稿は、他誌に未発表の原著論文、総説、速報、報告（症例報告を含む。）、資料及び委員会が適切と認めたものとする。

(2) 原稿種別の定義は次のとおりとする。また、原稿種別が適切であるかの最終判断は、委員会において決定する。

ア 原著論文：主題にそって行われた実験や調査のオリジナルなデータ及び資料に基づき、新たな知見、発見が論述されているもの

イ 総説：ある主題に関連した研究の総括、文献についてまとめたもの

ウ 報告（症例報告を含む。）：報告する価値があり、原著論文に準ずるもの

エ 資料：調査研究などで得られたデータをとくに仮説検証の意図をもたずに示したもの

3. 倫理的配慮

人及び動物が対象である研究について、特に倫理的な配慮が必要な場合には、その旨を本文中に明記すること。また、人に関わる研究については、対象者に対して事前にその研究の意義、目的、方法、予測される結果等について、十分な説明を行なった上で、自由意志に基づく文書による同意（インフォームドコンセント）を受けること。研究内容によっては本学医学系研究倫理審査委員会の承認を得ていることとし、承認番号を本文中に明記すること。なお、本学臨床研究利益相反審査委員会の裁定内容を明記すること。動物を用いた論文の場合、本学動物実験委員会の承認を得ていることとし、承認番号を本文中に明記すること。

4. 著作権等

提出された論文（文章・図・表・写真等を含めた全て）の著作権等について次のとおり定める。

(1) 提出された論文の著作権は、福井大学医学部（以下「本学」という。）に帰属する。

(2) 投稿に際しては、当該論文の著作権が本学に帰属

することを、著者全員が同意しているものとみなす。したがって投稿者は、共著者全員に本手続きを示し、この点に関する承諾を得た上で投稿しなければならない。

(3) 本文の一部や図・表・写真等を他の著作物から転載する場合、著作権に関わる問題や法令上の手続きは、著者自身があらかじめ処理しておかなければならない。

(4) 掲載する写真等の、プライバシーにも配慮しなければならない。

(5) 本学は、提出された論文を冊子体で刊行する以外にも二次的利用として、電子的記録媒体（CD-ROM、DVD-ROM等）への変換・送信可能化・複製学内外への配付及びインターネット等で学内外へ公開する権利（公衆送信権、自動公衆送信権等）を占有するものとする。

(6) 特許に関しては事前に申請を済ませること。特例を望む場合は特許法第30条（新規性の喪失の例外）に基づき手続きを行わなければならない。

5. 再利用

著者は、本学に事前に「論文再利用申出書」を提出すれば、自己の原稿を、複製・翻訳・翻案などの形で再利用することができる。（注：複製とは、出版・転載を意味する。）

6. 原稿等の提出

(1) 投稿を希望する者は、所定の「投稿の栞」に基づいて執筆し、申込書に原稿（別に原図、写真等がある場合はそれらを含む。）を添えて、電子メールまたは電子媒体（CD-ROM、USBメモリ）（以下「原稿等」という。）で、委員会に提出する。また、提出をもって投稿日とする。

(2) 原稿頁数は、1編について要旨、図、表、写真等を含め、1頁の字数・和文約2000字（和文48文字・41行）、欧文約4000字（欧文96文字・41行）を目安とする。

(3) 委員会において、原稿の形式が所定の書式に反していると判断した場合は、受付しない。

(4) 原稿等の受付事務は、情報企画課において行う。

(5) 投稿は随時行えるものとする。

7. 査読及び受理

(1) 論文の査読は、2名以上の編集委員又は編集協力者により行う。

(2) 投稿論文はその都度査読を経て、委員会において

審議し、編集委員長が許諾を決定したものについてはその許可日を受理日とする。

8. 投稿費用及び別刷り

(1) 刷り上がりは2段組20頁以内とし、投稿印刷等にかかる費用は無料とする。ただし、投稿者からの申し出により、委員会が認めた場合は20頁を超えることができる。この場合、20頁を超える分の経費は、著者負担とする。

(2) 別刷りの経費は、著者負担とする。（但し、PDFは無償）

9. 著者校正

原則として、著者による校正は2回までとする。

10. 投稿の葉

投稿原稿を作成する際の規定として「投稿の葉」に関し必要な事項は、委員会が定める。

投稿の葉

(直近改正 2024年2月)

原稿の作成については、下記に定める。

以下の(和)、(欧)は、それぞれ和文原稿、欧文原稿を作成する場合に適用する事項である。記述に関しては、指定のフォーマットを用いて作成すること。

1. 原稿の形式

(1)原稿は、可能な限りMicrosoft WordによりA4版の用紙を用いて作成する。

(2)フォントは和文ではMS 明朝、欧文ではTimes New Romanを使用する。

フォントサイズは以下の通りとする。

論文題目、サブタイトル：12pt

著者名：11pt

所属：10.5pt

欧文論文題目、欧文サブタイトル：12pt

欧文執筆者名：11pt

欧文所属：10.5pt (イタリック)

段落みだし：10.5pt (太字)

本文、抄録・キーワード：10pt

(3)原稿には、頁番号を付与する。

(4)1頁目は、

(和) 論文題目、著者名、所属、欧文論文題目、著者名、所属、要旨、キーワード、責任著者連絡先

(欧) 論文題目、著者名、所属、Abstract、Keywords、責任著者連絡先を記す。

2. 論文題目

(1) (和) 論文題目は1頁1行目中央に記し、サブタイトルが必要ならば次の行に記す。

(2) (欧) 論文題目は1頁1行目中央に記し、サブタイトルが必要ならば次の行に記す。また、冠詞、前置詞、接続詞(文頭にある場合を除く。)以外の単語の第1文字は大文字とする。

(例) Reverse Language Attrition Observed in Japanese ...

3. 著者名

(1) (和) 著者名は、「論文題目」行の下に記す。

(2) (欧) 著者名は、「論文題目」行の下に、姓、名の順に、姓についてはすべて大文字で、名については

第1文字を大文字で、その他の文字は小文字で記し、姓と名は「,」で区切るものとする。但し、日本人以外は従来慣行によるものとする。

(例) FUKUI, Taro

4. 所属

(1) (和) 所属は、領域名、分野名を「著者名」行の下に記す。

(2) (欧) 所属は、分野名、領域名の後に部門名、大学名を付け加え、「著者名」行の下に記す。

(例) Department of Obstetrics and Gynecolog

Division of Medicine, Faculty of Medical Sciences, University of Fukui

(3) 共著者等の所属が、本学の専任教官以外の場合は、右肩に※印を付し、脚注に所属を記す。

5. (和) 欧文論文題目、著者名、所属

「所属」行の下に、論文題目、著者名及び所属を、欧文で(2)から(3)の記載方法に準じて記す。

6. 責任著者連絡先

欄外に「Corresponding Author:」として責任著者連絡先〔氏名、住所、E-mail〕を記す。

6. Abstract (要旨)

「Abstract (要旨)」という見出しを付け、欧文及び和文で、300語(和文:400字)以内で記す。

7. Keywords (キーワード)

「Keywords (キーワード)」という見出しを付け、欧文及び和文により8個以内で記す。

8. 本文

(1) 本文は、2頁目から記す。

(2) 句読点は、読点を「,」、句点を「。」とし、特に希望がある場合は、原稿提出時に文書にて申し出る。

(3) 新しい段落の始まりは、1文字下げ(欧文の場合はTABキー1回分)として書き始め、句読点、括弧等も1文字として記す。

(4) 欧文文字及びアラビア数字は、半角文字で記す。

(5) (和) 外国の人名、社名、地名等の固有名詞は、原則としてカタカナで記す。

(6) 文中に、イタリック体、ゴシック体等特別な書体

を使用する場合は、該当箇所にアンダーラインを引き、イタリック体の場合は「イタ」を、ゴシック体の場合は「ゴ」と赤で明記する。

(7) 章節番号の付け方は、特に統一せず著者に一任する。

9. 注及び文献

(1) 注の見出しは、本文の該当箇所の右肩に片括弧を付し、その中を通し番号を記す。

(例) (和) … 演繹を課題⁶⁾とするので …

(欧) … Prominent item⁷⁾ in this figure is …

(2) 引用した注及び文献は、本文中に現れた順に末尾にまとめて記す。

(3) 注の記載様式は、特に統一せず著者に一任する。

(4) 文献の記載様式は、雑誌の場合、著者名、論文名、誌名、巻数：はじめのページ-おわりのページ、出版年、とする。著者が3名以上の場合には3名までを記載し、その他は「ほか」あるいは「et al.」として略す。雑誌名の略記は、「医学中央雑誌」または“MEDLINE (PubMed)”に記載のある場合、その略名表によるものとする。また単行本の場合は、著者名、

(章見出し)・(編(監修)者名)・書名・版表示、出版者、(はじめのページ-おわりのページ)、出版年、とする。同じ箇所に引用文献が2件以上ある場合は、3-5)のように記載する。

記載例

(雑誌)

- 1) 大多和威行, 佐藤啓造, 藤城雅也, ほか. 血漿中アラントイン/尿酸比からみた霊長類のプリン代謝に関する研究. 昭和医学会誌. 70: 263-271, 2010.
- 2) Lee, J. E., Fusco, M. L., Hessel, A. J. et al. Structure of the Ebola virus glycoprotein bound to an antibody from a human survivor. Nature. 454: 177-182, 2008.

(単行書)

- 1) 梶田欽一郎, 結合組織. 金原出版, 1984.
- 2) Berne, R. M., Levy, M. N., eds. Physiology. 3rd ed., Mosby Year Book, 1993.

(単行書の一部を引用する場合)

1) 佐藤啓造, 医師と法律. 澤口彰子編, 臨床のための法医学. 第6版. 朝倉書店, 174-195, 2010.

2) Sato, K. Carbon monoxide. In Suzuki, O., Watanabe, K., eds. Drugs and poisons in humans: a handbook of practical analysis. Springer, 91-99, 2005.

10. 図, 写真及び表

(1) 図, 写真, 表は原則として本文中に組み込む。組み込まない場合は割付箇所を指示し、別添する。

(2) 図, 写真, 表には番号及び見出しを記す。

(3) 図, 表等の説明文は、1点ごとに原図に記す。

(4) 書体, 色等の指示, 製版上の注意等は、別紙に明記する。

11. 英文校閲

英文原稿及び和文原稿の英文(抄録, 図表の見出し, 注解)については、原則としてネイティブ・スピーカーの校閲を受けることとしますが、詳細については担当係にご相談ください。